

令和 3 年 2 月 秋 田 市 議 会 定 例 会 一 般 質 問 者 順 序

フロンティア秋田 倉 田 芳 浩

市 民 ク ラ ブ 工 藤 新 一

そ う せ い 齊 藤 勝

1 新型コロナウイルス感染症について

(1) 教育現場における対応等について

ア 児童生徒に対して同感染症に関する教育をどのように行っているのか

イ 小中学校においてどのような制約を受けているのか、また、そのことに関してどのような対応をしているのか

ウ マスク着用が児童生徒の成長に与える影響をどのように考えているのか

(2) 市民生活への支援について

ア コロナ禍により自宅で過ごす機会がふえ、家庭系ごみの排出量が増加傾向にあることから、家計への支援の一環として、市民に対して有料指定ごみ袋を一定枚数配布してはどうか

2 除排雪について

(1) 1月9日に指示した全市一斉除雪について、作業が終了するまで通常よりも多くの日数を要した原因は何か、また、それにより路線バスの運休など市民生活にはどの程度の影響があったのか

(2) 1月14日に道路除排雪の作業がほぼ終了と報告した時点で、手つかずの箇所はどれくらいあったのか、また、作業がおくれた理由は何か

(3) 秋田市公式ユーチューブチャンネルによる市長からのお知らせでも1月12日には幹線道路の除雪がほぼ終了するとしていたにもかかわらず、その後も路線バスの運休や迂回運行が生じたのはなぜか、また、バスの安定運行に向け、今後の道路除排雪はどうあるべきと考えているのか

(4) 除雪作業によって生じた雪の塊が道路上に放置されたため見通しが悪化し、危険が増した箇所が散見されたが、排雪の基準はどのようにになっているのか

(5) 私道を新たに除雪路線にするための判断基準はあるのか、また、私

有地の除排雪を行うことはあるのか

(6) 冬期間においても太平山には一定数の登山者がいることから、県道232号太平山八田線の金山登山口に至る区間の除雪について、県に働きかけをするべきではないか

(7) 今冬において、除排雪コールセンターにはどのような要望が寄せられているのか、また、それらについて市として十分に対応しているのか

3 消防団について

(1) 本市団員の加入が進まない原因をどのように考えているのか、また、団員確保のためどのような方策をとっているのか

(2) 本市団員の報酬額等が消防団員報酬等の地方交付税算入額や全国平均よりも低いのはなぜか、また、報酬額等の引き上げによる処遇改善が必要と考えるがどうか

(3) 市として消防団の主たる活動内容をどのように考えているのか

(4) いわゆるサラリーマン団員が増加し、平日日中の火災対応に苦慮する分団もあるが、その対策についてどのように考えているのか

(5) 市内の事業所に対する消防団活動への理解と協力を、これまで以上に働きかけるべきと思うがどうか

(6) 教育訓練に対する団員の姿勢や考え方の変化について、市としてどのように認識しているのか

(7) 団員自身の安全対策に関する講習を一層充実させるべきと考えるがどうか

4 空き家対策について

(1) 市の調査によって危険度が高いと判断された空き家について、これまでどのような取り組みを行ったのか、また、その結果はどうか

(2) 空家等対策の推進に関する特別措置法及び秋田市空き家等の適正管理に関する条例に基づく助言、指導及び勧告等の実態はどうか

(3) 本市では、空き家の所有者が抱えるさまざまな課題に対処するため、

福祉や法律など専門性の高い相談にこたえられる体制は整えられているのか

5 コロナ禍における祭り・イベント等について

- (1) 市内の祭り関係者を集め、祭りの伝統や文化の継承に係る情報交換を行う場を企画してはどうか
- (2) 祭りやイベントを開催する際の新型コロナウイルス感染症対策について、本市独自に共通ガイドラインを作成するべきではないか
- (3) 同感染症の収束が見通せない状況下において、ことしの竿燈まつりをどのような方法で実施しようと考えているのか、また、竿燈まつりに合わせて来県する観光客等に対してどのような対策を講じるのか
- (4) 東北絆まつり2021山形の開催に当たり、新型コロナウイルス感染症予防等についてどのような協議が行われたのか

6 雇用の場の確保について

- (1) 秋田県内の各大学と学生の進路に関する意見交換等を行っているのか
- (2) 有望な人材の県外流出を抑えるため、先端IT企業や商社などの誘致を積極的に行うべきではないか

7 街路樹及び保存樹について

(1) 街路樹について

ア 市民からどのような要望が寄せられているのか、また、それらへの対応はどうか

イ 管理はどのような区域単位で実施されているのか

ウ 剪定はどのような考えに基づき実施されているのか、また、景観に関する目標などは設定されているのか

エ 剪定や管理に関する専門知識を有する職員が業務に携わっているのか

オ 剪定を実施する業者を対象とした技術講習会などを開催する考え

はないか

(2) 保存樹について

ア しばらく前に枯死が確認された通称「油田の一本松」を伐採しないのはなぜか

イ 一本松を伐採した後の対応についてどのように考えているのか

8 プラスチックごみについて

(1) 令和3年1月に政府の有識者会議が提言したプラスチックごみのリサイクル強化策に、自治体に対するプラスチックごみの一括回収の促進が盛り込まれていることについて、どのような認識を持っているのか

(2) 海洋プラスチックごみ問題を踏まえ、プラスチック資源を循環させるためにも一括回収の実施について検討してはどうか

9 働き方改革について

(1) 市長、副市長及び一般職の職員のテレワーク導入について

ア 現在までの検討状況はどうか、また、実態に即した課題を洗い出すため試験的に実施してはどうか

イ 管理職のテレワークについて、義務化に向けた検討を行うべきではないか

(2) 教職員の多忙化解消に向けた方策について

ア 教職員の負担軽減に向け、アンケート集計などの業務は削減するべきではないか

イ 部活動の顧問は適材適所の配置が行われているのか

ウ 大規模校の教科担任は受け持つ授業の時数や採点などの業務量が多いことをどのように考えているのか、また、負担軽減をより積極的に進めるべきではないか

エ 全国学力・学習状況調査への参加及びキャリアノートのあり方について疑問視する声が多いことから、不参加及び廃止をするべきではないか

10 秋田市太平山スキー場及び太平山リゾート公園の指定管理業務について

- (1) 同スキー場施設の空調機器が今シーズンの開始当初から故障しているが、事前の点検で発見することはできなかったのか、また、代替として設置している石油ストーブについて、その危険性をどのように認識しているのか
- (2) 利用者に提供するサービスについては、指定管理者にどのような働きかけをしているのか

1 コロナ禍における支援等について

- (1) 行政からの支援制度の対象とならず、いわゆる制度のはざままで苦しむ方々の状況把握に努め、市が計画している大型事業を状況が安定するまで一たん凍結し、広く支援が必要な方々に対して行き届くような取り組みを行うべきと考えるがどうか
- (2) 中小企業・小規模事業者への支援の拡充をどのように検討しているのか
- (3) 生活保護受給要件に至らない、あるいはみずからそれを希望していない市民の現状を把握し、対応することが必要であるが、何か検討しているのか

2 新型コロナウイルスワクチン接種事業について

- (1) 高齢者などかかりつけ医を持つ市民にとって、病歴、診療データが蓄積されているかかりつけ医で接種した方が安心と思うがどうか
- (2) 同ワクチンは、極めて不安定なものと聞いているが、移動と保管の際の問題の解決策を検討しているのか
- (3) 保管冷凍庫と接種会場ごとにブロック化して、保管冷凍庫を移動させることは検討しているのか
- (4) 医療関係者等に協力要請をする際に、どの程度の期間となると伝えられているのか、また、その際の休業補償等はどのように考えているのか
- (5) 公共施設を使用する場合の駐車場管理、接種会場の運営に係る人員は、どのように確保するのか
- (6) 市職員が従事する場合は、一時的とはいえ労働条件の変更を伴うと考えられるが、市職員労働組合との協議は既に終えているのか
- (7) 接種会場を確保しただけでは順調に接種が進むとは考えにくいですが、現時点での準備状況をどのようにとらえ、今後どのような方針で準備を進めていくのか

3 除排雪と公共交通の確保について

- (1) 除雪後も道路幅が確保されていなかったため、特に今冬はバスや救急車両の接触事故が起きたと考えられるが、このような事例が発生した際は、市道を管理している建設部と公共交通政策を担当している都市整備部が、しっかりと連携して対応すべきと考えるがどうか
- (2) 市は発注者として、除排雪結果をきちんと見きわめ、受託業者に対して適切に是正内容を伝えるべきと考えるがどうか、また、除排雪業務完了後の状況をどのように検証し、適時受託業者に伝えているのか
- (3) 除雪車のオペレーターの現状についてどうとらえて、オペレーター確保のために本市としてどう取り組んでいくのか
- (4) 歩道除排雪が不十分なため、道路状態のよい車道を通行している歩行者が見られるが、歩道除排雪の実施基準のとおり、確実に実行されているのか、また、これまでに検証された内容が今冬の除排雪にどのように活かされているのか

4 公共交通におけるICカードの活用について

- (1) 同カードのデータ解析は、導入した1年後以降と言われているが、集積したデータを分析した上で、今後の公共交通網のあり方などをどう目指していくのか
- (2) 路線バスのダイヤ編成にどのように反映していくのか
- (3) 同カードの普及に向け、どのような取り組みを予定しているのか

5 エイジフレンドリーシティについて

- (1) エイジフレンドリーシティの考え方は、高い行政哲学としてとらえているが、本市は具体的に何を指そうとしているのか
- (2) イベントを通じて市民への啓発、意識づくりも必要であるが、本市の施策すべてにエイジフレンドリーシティの精神が反映されなければならないと考えるが、どのように意識づけされ施策が実施されているのか

6 市立小中学校におけるフッ化物洗口事業について

- (1) 2011年から行われているフッ化物洗口によって、う蝕防止効果がどの程度上がったのか、また、それをどうとらえているのか
- (2) うがいによって飛沫が発生するが、コロナ禍でのフッ化物洗口における飛沫防止対策はどのように行われているのか
- (3) 国連子どもの権利条約及びいわゆる秋田市子ども条例の設置の精神に基づき、同事業の同意を得る際、それがどのように生かされているのか、また、自己決定権はどのように尊重され醸成されているのか
- (4) 同事業は、教育プログラム上の位置づけではないが、教育現場で行う事業として、児童生徒に何を身につけてほしいのか

7 有機フッ素化合物の一種である「PFOS」含有の泡消火薬剤・消火器等について

- (1) 本市消防が所有する資機材に当該物質が含有するものはあるのか
- (2) 市内駐車場及び施設において、同泡消火薬剤・消火器等が使用されている施設はどのくらいあるのか、また、各施設にどの程度の量があるのか
- (3) 施設の取扱管理者に、今後どのように助言をしていくのか

1 外旭川地区のまちづくりについて

(1) イオンタウン株式会社が提案しているイオン外旭川開発計画等について

ア 一般的に、市街化調整区域の農業振興地域内において、開発を進めるには、農用地区域の除外や農地転用が必要となるが、どのような手続で、どの程度の期間を要するのか、また、市街化調整区域における開発許可については、どのような条件があり、どの程度の期間を要するのか

イ 同計画において、市街化調整区域を市街化区域へ編入せずに本市が地区計画を都市計画決定し、開発行為を許可することは可能なのか、また、市街化調整区域を市街化区域へ編入する手続と比べ、その手続に要する期間はどの程度短縮されるのか

ウ 同社の計画を現在どのように評価しているのか

エ 今後のまちづくりのモデル地区に指定予定の範囲は、卸売市場とその周辺と考えられるが、その周辺とは、同社が計画している約35万平方メートルの土地と解釈してよいのか

オ モデル地区における全体スケジュールをどのように考えているのか

2 秋田市人口ビジョン（案）について

(1) 2040年に目指すべき将来人口約26万人の仮定の一つとしている合計特殊出生率2.07はかなり高い数値であるが、その仮定を達成するための具体的な取り組みは何か、また、もう一つの仮定として2040年以降は人口移動がないものとしているが、そのための具体的な取り組みは何か

(2) 生産年齢人口に65歳以上70歳未満の方を含め、その範囲をとらえ直す必要性が高まるとしているが、健康面などを勘案した場合、現実にはどの程度就労できる方がいると想定しているのか、また、その年齢の

方を労働力として想定するためには、日常生活の自立を越えた、さらなる健康に向けた取り組みが必要と考えるが、その具体はあるのか

3 本市の魅力の総合的な情報発信について

- (1) 本市のシティプロモーション基本方針（原案）では、「自らの住む地域に関わる当事者意識を持った人を増やし、市民をはじめ市内外の人々から、秋田市を好きになってもらう」ことを目的に据えようとしていることから、内向きの取り組みとともに、外向けに本市の魅力を総合的に情報発信していくべきと考えるがどうか
- (2) より多くの人に本市の魅力を発信していくため、まずはふるさと納税の寄附金額において、県内で一番を目指すべきではないか

4 コロナ禍における中小企業・個人事業者への支援について

- (1) 自粛行動が経済活動にも大きく影響していることから、市内企業等の経営状況などを適切に把握する必要があると考えるがどうか
- (2) 市内企業等に対して、十分に支援が行き届いているのか、また、市内企業等が望む支援をどのように把握しているのか

5 自主避難に向けた取り組みについて

- (1) 大雨、大雪など災害級の事態が予見される場合に、昼夜を問わずに、住民の身近なコミュニティセンターにおいて、自主的な避難に対応できるよう体制等を構築するべきではないか
- (2) 市民の円滑かつ迅速な避難を図るため、積極的に自主避難を促す取り組みを行う考えはないか